

わが家の防災メモ

避難先 親戚・知人宅、 指定緊急避難場所など	洪水	
	高潮	
	地震・津波	
家族が離れ離れになった時の集合場所		

● 家族の連絡先など

氏名	電話番号	メモ(血液型・生年月日など)

大きな地震など災害時には、電話回線が混み合いつながりにくくなります。各電話会社が提供する「災害用伝言ダイヤルサービス」や「災害用伝言板サービス」を安否確認にご利用してください。



伝言の登録方法

電話

171にダイヤル

「1」をダイヤル

市外局番+電話番号*

伝言を録音

Web

web171.jpにアクセス

電話番号を入力*

登録ボタン

名前/安否/伝言を登録



伝言の確認方法

電話

171にダイヤル

「2」をダイヤル

市外局番+電話番号*

伝言を再生

Web

web171.jpにアクセス

電話番号を入力*

確認ボタン

伝言内容を確認

*電話番号は被災地の方の市外局番からの電話番号、または携帯電話番号

伝言ダイヤル・伝言板
体験利用提供日

毎月1日・15日 / 1月1日～3日 / 1月15日～21日(防災とボランティア週間) / 8月30日～9月5日(防災週間)

緊急連絡先	名称	電話番号	住所	
	川越町役場	安全環境課(災害対策本部)	366-7163	豊田一色280
		産業建設課(町道・農地・漁港)	366-7117	
		上下水道課(上水道・下水道)	366-7118	
	四日市市北消防署朝日川越分署	377-4945	朝日町大字小向375-2	
	四日市市北警察署	366-0110	四日市市大字羽津4452	
	川越交番	365-4550	豊田一色257-1	
	川越富洲原交番	363-1735	豊田284-5	
中部電力パワーグリッド(株)桑名営業所(停電情報)	0120-923-473	桑名市寿町3-9		

川越町防災ガイドブック

KAWAGOE TOWN DISASTER PREVENTION GUIDE BOOK



このガイドブックは、身近な地域のリスクについて具体的に理解を深め、災害ごとの避難行動を確認し、実際の災害をイメージしながら、自らに適した避難行動やそのタイミングについて考えていただくために作成しました。いざという時のために、日ごろから家族、ご近所や自主防災組織の方々と身の回りの危険箇所や避難場所、避難経路などについて話し合い確認しておきましょう。

目次 CONTENTS

- 自らの命は自ら守る 自らの地域はみんなで守る 01 - 02
- ハザードマップの使い方 03 - 04
- 警戒レベルと避難行動 05 - 07
- 日頃の備え 08
- 風水害について知る 09 - 10
- 高潮について知る 11 - 12
- 地震について知る 13 - 15
- 地震が起きたら 16
- 津波について知る 17 - 18
- 広域避難とは 19
- 指定緊急避難場所・指定避難所一覧(川越町・四日市市・朝日町) 20 - 22

 川越町

令和5年3月発行

自らの命は自ら守る 自らの地域はみんなで守る

災害時に自分自身や大切な人の命、自分自身が住む地域を守るには、「自助」と「共助」の心がけと、日ごろから災害の「知識」を得ることや備蓄などの「備え」が大切です。このガイドブックを活用して家族や地域と一緒に防災の準備を始めましょう。



自主防災組織といっしょに備えましょう。

川越町が大きな災害に見舞われた場合、消防や警察が到着するまでの間は、地域みなさんの協力による消火活動・救助活動・避難誘導などが重要です。地域の自主防災組織などの活動に参加し、災害への備えや訓練を行いましょう。



コミュニケーションから地域の協力の輪を広げていこう

- 日頃のあいさつなど、近所づきあいを大切にしましょう。
- 地域のイベント（お祭りなど）に参加しましょう。
- 地域づくりやまちづくりの活動に参加しましょう。



自主防災組織と協働して地域の防災を強化しよう

- 防災訓練や講習会などに参加しましょう。
- まち歩きなどで地域のリスクを発見共有しましょう。
- 避難場所などを決めて地域の防災マップを作りましょう。



災害発生時の役割や行動を事前に決めよう

- 災害直後の安否確認の方法を決めましょう。
- 地域の要配慮者を確認し、支援方法を決めましょう。
- 避難所などでそれぞれの役割を決めましょう。

要配慮者の支援のしかた

要配慮者とは、高齢者、障害のある人、妊産婦、外国人など、災害発生時の対応に支援を必要とする人々のことです。要配慮者を災害から守るためには、地域全体の協力が不可欠です。災害時の情報提供や安否確認、避難誘導など必要に応じた支援をしましょう。

高齢者、妊産婦、子どもには <ul style="list-style-type: none"> ● 声をかけ、安否確認を行う。 ● 介助をしながら安全な場所まで誘導する。 ● 荷物などを持ち一緒に逃げる。 	車いすの人には <ul style="list-style-type: none"> ● 階段や急坂では必ず2~3人で介助する。 ● 上がるときは前向き、下がる時は後ろ向きに。 	知的障害のある人には <ul style="list-style-type: none"> ● 一人にいるときは、声をかけて落ち着かせる。 ● 言葉で理解されない場合は、手を引いて安全な行動ができるよう誘導する。 	要配慮者のみなさんへ <p>災害時の混乱の中では、遠方の支援者がすぐにはかけつけることは困難です。また、支援者自身が被災する可能性もあります。そのため、できる限り隣近所に複数の支援者をつくるようにしましょう。</p> <p>隣近所の人に、自分が災害時に支援が必要であるという意思表示を行うことも大切です。協力を得られるように日ごろから、隣近所の人とコミュニケーションを取り、災害から身の安全を守る努力をしましょう。</p>
目が不自由な人には <ul style="list-style-type: none"> ● 「お手伝いしましょうか?」とまず声をかける。 ● 杖を持った方の手をとらず、ひじのあたりに触れ、ゆっくり歩く。 	耳が不自由な人には <ul style="list-style-type: none"> ● 正面に向き合って口をやや大きめに動かしてゆっくり話し、口の動きで情報を伝える。 ● 手話や筆談のほか、手のひらに指先で文字を書いて情報を伝える。 	外国人には <ul style="list-style-type: none"> ● 身振り手振りで話しかけ、孤立させない。 	

避難時の感染症対策

感染症まん延時において、指定緊急避難場所や指定避難所は、不特定多数の方が集まって過ごすことから、感染しやすい環境になってしまいます。以下のことに注意して避難しましょう。

密を避ける

- 災害の危険がない場所にいる人まで、指定緊急避難場所に行く必要はありません。
- 安全な場所にある親戚や知人宅に避難することも検討しましょう。

車中泊避難を検討している方は、こちらをご覧ください。▶

- 車中泊をする場合は、エコノミークラス症候群や熱中症などに注意しましょう。



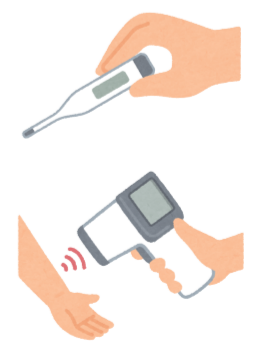
(出典: あいち・なごや強靱化共創センター・名古屋大学減災連携研究センター 自治体研究会)

避難所に入るとき

- 手指消毒・検温後、健康チェック票などを記入いただき、受付に提出してください。受付の者が記載内容を確認した後、指示に従って順番に避難所内にお進みください。
- 感染症が疑わしい症状がみられる場合は、避難所を移動していただく場合がございますので、ご協力をお願いします。
- 必ずマスクを着用してください。マスクをお持ちでない場合は、受付時に申し出てください。

衛生・健康管理

- マスクを着用してください。
- 手洗い、手指消毒、咳エチケットの徹底をお願いします。
- 定期的に検温をしてください。
- 手が触れる共用部分の定期的な清掃をお願いします。
- 定期的な換気をお願いします。
- 体調不良の場合は、避難所運営者にお申し出ください。



✓ ハザードマップの使い方

STEP1 知る

ハザードマップを見て、ご自宅の災害リスクをチェック！

ハザードマップの種類	浸水深						家屋倒壊等氾濫想定区域
	~0.3m	0.3~0.5m	0.5~1.0m	1.0~3.0m	3.0~5.0m	5.0~10.0m	
洪水	朝明川(想定最大規模)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	員弁川(想定最大規模)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
高潮	想定最大規模	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	理論上最大クラス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

STEP2 確認

災害時の防災行動を確認しましょう。

以下のフローチャートや、防災マップの情報ページなどを参考にして、災害時の防災行動を確認してみましょう。

地震の時の防災行動はP.16へ！

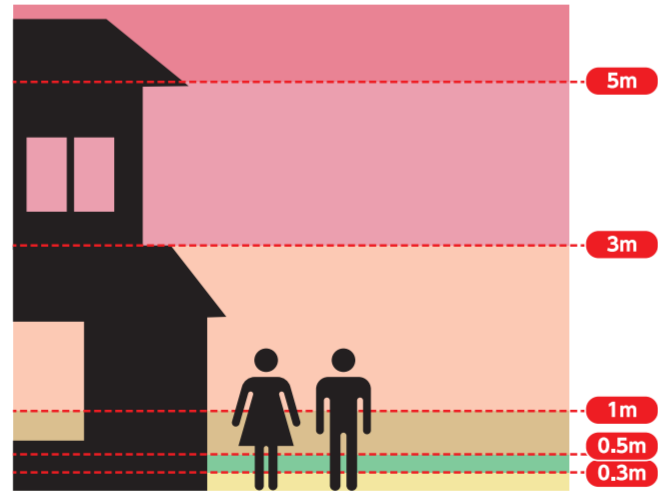
台風・大雨のときどこに逃げる？

ご自宅がある場所は家屋倒壊等氾濫想定区域内ですか？

はい いいえ

浸水のおそれのない高さに部屋はありますか？

いいえ はい



安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

いいえ はい

指定緊急避難場所へ

親戚・知人宅などへ

ご自宅にとどまることも可能

STEP3 考える

マイ・タイムラインに具体的な行動を書き込みましょう(洪水編)

台風などの風水害は、突然起こる地震とは違い、時々刻々と進行する進行型の災害です。安全に避難するためにどのような順序で防災行動を行うべきかを、避難指示などの行政が発信する情報のタイミングに合わせて考えてみましょう。

記入例を参考に自分の行動(マイ・タイムライン)を考えましょう

作成年月日 年 月 日

黒：気象庁
青：県
緑：町

○台風・大雨に関する気象情報

早期注意情報
警戒レベル1

大雨注意報・洪水注意報
警戒レベル2

○台風に関する今後の見通し

水防団待機水位到達

氾濫注意水位到達

氾濫注意情報

◇暴風警報
◇大雨警報・洪水警報
○避難場所の開設

避難判断水位などの到達
警戒レベル3相当

氾濫警戒情報

高齢者等避難を発令

氾濫危険水位などの到達
警戒レベル4相当

氾濫危険情報

避難指示を発令

◇大雨特別警報

氾濫発生情報
警戒レベル5相当

緊急安全確保
(可能な範囲で発令)

記入例

○台風の今後を調べ始める

○1週間分の葉を病院に受け取りに行く

○家の周りに風で飛ばされるようなものはないか確認

○テレビ、インターネット、携帯メールなどで雨や川の様子に注意

○避難する時に持って行くものを準備する

○家族と連絡を取りあう

○住んでいるところと上流の雨量を調べ始める

○携帯電話の充電

○ハザードマップで避難場所、避難手段を再確認

○川の水位を調べ始める

○高齢者等避難に時間がかかる方は避難を始める。

○その他の人は避難できるよう準備する

○携帯メールなどで避難指示を受信

○安全なところへ移動を始める

○命を守る最善の行動をとる

3日前

雨風が強くなる前に行うべき事項をすませておく時期

-5h

水位などの状況を把握しつつ避難に要する時間に応じて避難行動を開始する時期

-3h

自宅にとどまることができない場合

●親戚・知人宅などへ
避難先

●指定緊急避難場所
避難先

-0h

身の安全を確保すべき時期

警戒レベルと避難行動 [自分の命は自らが守る]

町から高齢者等避難（警戒レベル3）や避難指示（警戒レベル4）などが発令された際には、危険な場所から速やかに避難してください。また、気象庁から警戒レベル3、警戒レベル4に相当する防災気象情報が発表された際には、避難指示などが発令されていなくてもキキクルや河川の水位情報により自ら避難の判断をしてください。

警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報			市町村の対応	住民が取るべき行動	警戒レベル
数十年に一度の大雨	キキクル			緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
	大雨特別警報	災害切迫	氾濫発生情報			
大雨の数時間～2時間程度前	土砂災害警戒情報	高潮警報	高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	避難指示
	大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	警戒			
大雨の半日～数時間前	大雨警報に切り替える可能性が高い注意報	高潮注意報	注意	注意	氾濫注意情報	情報収集
	大雨注意報 洪水注意報	早期注意情報 (警報級の可能性)	心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認			
大雨の数日～約1日前	早期注意情報 (警報級の可能性)			心構えを一段高める 職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3（高齢者等避難）に相当します。「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成。

町から発令される避難情報

避難とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。

警戒レベル3 高齢者等避難	警戒レベル4 避難指示	警戒レベル5 緊急安全確保
<p>高齢者等避難が発令された際には、高齢者や障害のある人などの避難に時間のかかる方やその支援者は危険な場所から避難を開始する。</p> <p>その他の人は避難の準備を整えるとともに、今後の防災気象情報、水位情報などに注意を払い、自発的に危険な場所から避難を開始することが望ましい。</p>	<p>避難指示が発令された際には、河川のそばなど危険な場所からできるだけ離れ、安全な場所へ速やかに避難する。</p> <p>具体的にとるべき行動は、「立ち退き避難」を基本とし、ハザードマップなどにより、屋内で身の安全を確保できるかを確認し、居住者自らの判断で「屋内安全確保」することもできる。</p>	<p>既に災害が発生又は切迫している状況であり、近隣のより高所な建物に避難したり、垂直（階上）避難をするなど、命を守る最善の行動をとる。</p> <p>なお、緊急安全確保は、災害が発生していることを、町が把握した場合に可能な範囲で発令するものであり、必ず発令されるものではないことに留意する。</p>

警戒レベル1・警戒レベル2 災害への心構えを高める

情報収集手段の確認

災害時は、情報をいち早く入手することが重要です。気象情報や避難情報は、様々なツールにより確認することができます。災害から自分や家族の命を守るために、日ごろから情報の収集方法を確認しておきましょう。

川越町が発信するもの

町からは、避難情報や災害情報などを発信しますので、確実に入手できるよう普段から確認しましょう。

防災行政無線・個別受信機
避難指示などの避難情報や緊急情報を屋外スピーカーや個別受信機から音声でお知らせいたします。

川越町ホームページ

緊急速報メール
携帯電話事業者が提供する携帯電話を利用した災害時専用の情報発信の仕組みで、国や地方公共団体が発信する災害に関する重要な情報を対象のエリアにいる方に配信します。

川越町メール配信サービス
防災情報など様々な情報をメールで配信しています。QRコードからご登録ください。

スマートフォン フィーチャーフォン

川越町 LINE 公式アカウント
防災情報など様々な情報をラインで受け取れます。

その他の情報収集手段

気象情報、河川の水位情報など災害時に役立つサイトは、普段から確認し、使い方に慣れておきましょう。

気象庁 あなたの街の防災情報 キキクル 	国土交通省 川の防災情報 	三重県 防災みえ.jp メール配信サービス
NHK ニュース・防災アプリ for iPhone for Android 	Yahoo! 防災速報アプリ 	中部電力パワーグリッド 停電情報お知らせサービス for iPhone for Android
テレビ リモコンの「dボタン」を押すと災害情報を表示できます。		

ハザードマップで避難方法を確認する	ハザードマップで浸水想定区域やご自宅の浸水深、避難先など、避難の方法を再確認しましょう。
家族の所在を確認する	災害が発生すると、停電や携帯電話基地局の被災、携帯電話網の混乱などにより、電話連絡などができなくなるおそれがあります。災害が発生する前に連絡を取り、避難が必要な場合のお互いの行動について確認しましょう。平時からの家族会議などであらかじめ取り決めておくと安心です。
非常時持ち出し品を確認する	避難に必要な道具が揃っているか確認し、すぐに持ち出せるように準備しましょう。P8の非常時持ち出し品チェックリストを確認し、備蓄品とは別で用意しましょう。

警戒レベル3

「高齢者等避難」が発令された地域で、危険な場所にいる高齢者など、避難に時間のかかる方と、その支援者は避難を開始

▶ 高齢者等要配慮者の避難に協力

お年寄りや小さなお子さん、身体の不自由な方が、早めに避難できるよう、近所のみなさんは避難に協力しましょう。特に、一人暮らしの高齢者や病気の人たちには、普段から気配りが必要です。

警戒レベル4 「避難指示」が発令された地域で、危険な場所にいる人などは全員避難

指定緊急避難所に移動することによりかえって命に危険を及ぼしかねない場合は、近隣のより安全な場所に避難してください。また、外出すら危険な場合には屋内で安全を確保してください。

▶ 複数で避難・隣近所に声をかけましょう!

一人で避難すると、事故にあったとき非常に危険です。複数で避難し、隣近所に声をかけていきましょう。



▶ 危険な場所は避けて避難しましょう!

アンダーパスや、がけ地、堤防などを通るのは危険です。近道であっても避けましょう。橋を渡ることは避けて避難しましょう。



履物に注意しましょう!

運動靴が最適です。長靴は浸水が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。

マンホールに注意しましょう!

大雨によりマンホールのふたが外れることがあります。杖や棒などで足元を確認しながら避難しましょう。

車での避難は控えましょう!

車は約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は避けましょう。

歩ける深さに注意しましょう!

浸水時に歩ける深さは、ひざの高さ程度までです。水かさか腰までであると疲労しやすく、流速がある場合は20cm位の水かさでも危険です。高い場所で救援を待ちましょう。

警戒レベル5

「緊急安全確保」が発令された地域で、危険な場所にいる人は、命を守る最善の行動をとる

※緊急安全確保は、必ず発令される情報ではありません。

既に災害が発生又は切迫している状況であり、今いる場所の最も高い場所へ避難をするなど、命を守る最善の行動をとりましょう。

避難の種類

立ち退き避難 (水平避難)

避難行動の基本は立ち退き避難 (水平避難)



指定緊急避難場所、安全な親戚・知人宅

屋内安全確保 (垂直避難)

上層への移動や高層階にとどまることなどにより安全確保ができる場合



自宅マンションで自宅内で安全確保ができる場合

緊急安全確保

逃げ遅れた場合や立ち退き避難を安全にできない場合



分散避難のすすめ

「避難＝避難場所へ行くこと」とは限りません。

避難場所へ多くの方が避難すると、新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染リスクが高まります。避難が必要な場合は、避難所への避難以外にも安全な場所にある親戚や知人宅への「縁故避難」、自宅で安全が確保できる場合の「在宅避難」、避難生活に車を活用する「車中泊避難」など、ご自身や家庭及び地域の実状にあった避難方法を選び、地域の人たちが分散して避難することが大切です。



縁故避難

在宅避難

車中泊避難

日頃の備え

非常時持出品を準備しておきましょう

非常時持出品は、避難時に持ち出す必要最低限の備えです。しばらく避難する場合も想定して、自分にとって本当に必要なものを準備して、持ち出しやすい場所に置きましょう。

避難の際に両手の空くりュックバックに、男性15kg・女性10kgを重さの目安として準備しておきましょう。

非常時持ち出し品リスト (災害時に持ち出すもの)

- | | |
|---|--|
| 食料品など
<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> アルファ化米 <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> 乾パン
衣類など
<input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> 雨具・防寒具 <input type="checkbox"/> ブランケット <input type="checkbox"/> 予備のメガネ
貴重品
<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預貯金通帳 <input type="checkbox"/> 運転免許証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード
<input type="checkbox"/> パスポート <input type="checkbox"/> クレジットカード <input type="checkbox"/> カギ類 <input type="checkbox"/> 印鑑 <input type="checkbox"/> 保険証
生活用品
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 携帯電話充電器 <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー
<input type="checkbox"/> 予備の電池 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 洗面用具
<input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ペン・ノート
<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 救急用品 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> トイレットペーパー <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ
<input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> マルチツール | 避難用品
<input type="checkbox"/> ヘルメット・防災ずきん <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ホイッスル
子どもがいる家庭の備え
<input type="checkbox"/> ミルク (キューブタイプ) <input type="checkbox"/> 子ども用紙おむつ <input type="checkbox"/> 抱っこ紐
<input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> おむつ用ビニール袋
<input type="checkbox"/> 離乳食 <input type="checkbox"/> 携帯カラトリー <input type="checkbox"/> 子どもが大切にしているもの
女性がいる家庭の備え
<input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ <input type="checkbox"/> 防犯ブザー
<input type="checkbox"/> おりものシート <input type="checkbox"/> 中身の見えないゴミ袋
高齢者がいる家庭の備え
<input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ <input type="checkbox"/> 介護食 (おかゆなど) <input type="checkbox"/> 杖
<input type="checkbox"/> 入れ歯・洗浄剤 <input type="checkbox"/> 持病の薬 補聴器 <input type="checkbox"/> おくすり手帳
<input type="checkbox"/> 吸水パッド |
|---|--|
- その他必要なものを書き込みましょう

1週間分の日常備蓄と定期的な点検をしましょう

災害発生後すぐに食料などの生活必需品が手に入るとは限りませんので、各家庭での備蓄が必要です。川越町では、1週間分の水と食料を備蓄するよう推奨しています。

賞味期限の長い普段の食料を多めに買って置き、期限の近いものから消費し、その分を買い足す「ローリングストック方式」を活用して消費と備蓄をバランスよく行いましょう。



備蓄品リスト (避難生活のために準備するもの)

- | | |
|---|---|
| 食料品など (1人あたり7日分が目安)
<input type="checkbox"/> 飲料水 (1人あたり1日3ℓ) <input type="checkbox"/> アルファ化米 <input type="checkbox"/> 乾パン
<input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> お菓子類 <input type="checkbox"/> 野菜ジュース
<input type="checkbox"/> 栄養補助食品 <input type="checkbox"/> 調味料 (醤油・塩など) | 生活用品
<input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> カセットボンベ <input type="checkbox"/> マルチツール <input type="checkbox"/> ラップ
<input type="checkbox"/> アルミホイル <input type="checkbox"/> 紙食器 <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー
<input type="checkbox"/> 簡易トイレ <input type="checkbox"/> トイレットペーパー <input type="checkbox"/> ビニール袋・ゴミ袋
<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 携帯電話充電器 <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー
<input type="checkbox"/> 予備の電池 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 洗面用具
<input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ペン・ノート
<input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 救急用品 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> ガムテープ
<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ
<input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> ロープ |
| 子どもがいる家庭の備え
<input type="checkbox"/> ミルク (キューブタイプ) <input type="checkbox"/> 子ども用紙おむつ <input type="checkbox"/> 抱っこ紐
<input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> おむつ用ビニール袋
<input type="checkbox"/> 離乳食 | 高齢者がいる家庭の備え
<input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ <input type="checkbox"/> 吸水パッド <input type="checkbox"/> 持病の薬 <input type="checkbox"/> 入れ歯・洗浄剤
<input type="checkbox"/> おかゆなどの柔らかい食品 <input type="checkbox"/> 補聴器 <input type="checkbox"/> おくすり手帳 |

風水害について知る

水害とは、大雨や台風などの多量の降雨によって引き起こされる災害です。日本では、毎年、梅雨期の大雨や台風などにより、平年の1か月の雨量を超えるような雨が短時間で降ったり、台風により激しい雨をもたらすと河川の急激な増水により河川の氾濫や山崩れなどの社会生活に大きな影響を及ぼす災害が発生しています。

雨の強さと降り方（1時間雨量）

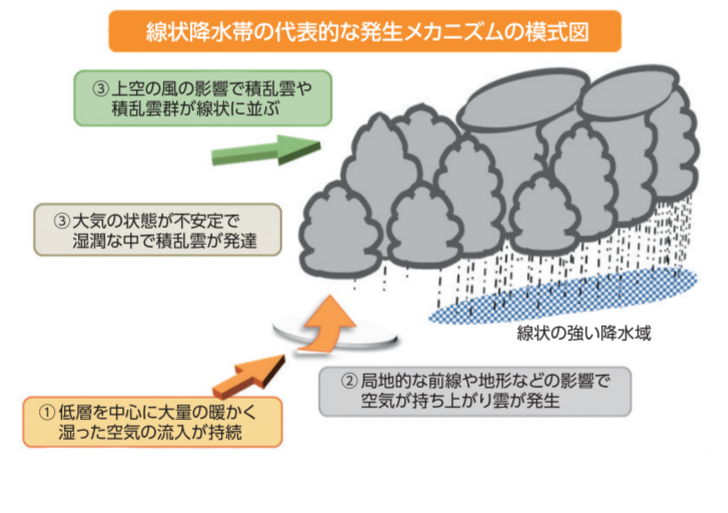
※局地的大雨などにより20mm～30mmの雨でも市街地では冠水する場合があります。

<p>10～20mm やや強い雨</p> <p>地面一面に水たまりができ、話声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら警戒が必要です。</p>	<p>20～30mm 強い雨</p> <p>土砂降りの雨。傘をさしても濡れてしまうほどの雨です。小河川の氾濫や、崖崩れの心配もあります。</p>	<p>30～50mm 激しい雨</p> <p>バケツをひっくり返したような激しい雨。山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備を。</p>	<p>50～80mm 非常に激しい雨</p> <p>滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽくなります。中小の河川は氾濫し、水害発生の可能性が高まります。</p>	<p>80mm以上 猛烈な雨</p> <p>息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じます。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要です。</p>
---	--	---	---	--

キーワード：線状降水帯

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたって、ほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水を伴う雨域を「線状降水帯」と言います。

気象庁は、大雨による災害発生の危険度が急激に高まった場合、線状降水帯による大雨に関して「顕著な大雨に関する情報」として発表しています。（警戒レベル4相当以上の状況で発表）

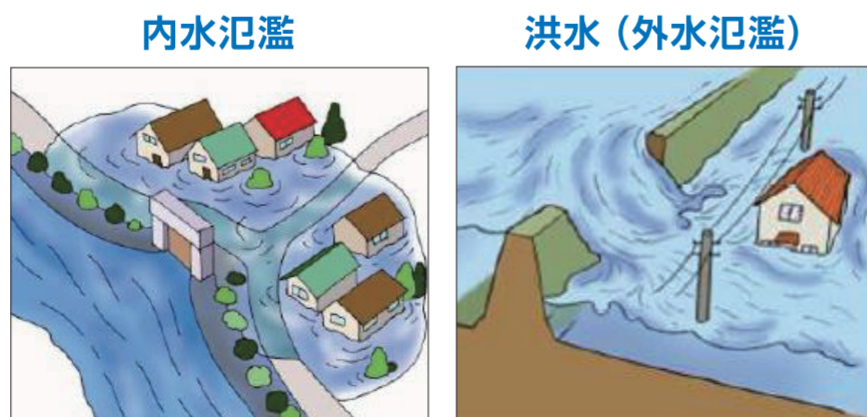


出典：気象庁「顕著な大雨に関する情報」

内水氾濫と洪水（外水氾濫）

降った雨を排水処理できず、建物や土地、道路が浸水することを内水氾濫と言います。洪水と比べて、浸水規模は小さいですが、周辺よりも低い平地などで発生しやすい特徴があります。

洪水は、河川の堤防から水が溢れ又は破堤して、建物や土地、道路が浸水することを言います。洪水が発生すると広い範囲が浸水して、大規模な被害が発生する恐れがあるので、特に注意が必要です。



大雨が降ると川の水位が上がり、排水されにくくなり、下水道などがあふれてしまいます。崩れた場所は一気に拡がり、勢いよく水が流れ出し、家などに襲い掛かります。

大雨・洪水に関する注意報・警報

気象庁は、下記のような場合に大雨・洪水に関する「注意報」「警報」を発表します。さらに、警報の発表基準をはるかに越える豪雨などが予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に、「大雨特別警報」を発表し、最大限の警戒をするよう呼びかけます。「注意報」「警報」「特別警報」は関係行政機関、都道府県や市町村へ伝達され防災活動などに利用されるほか、市町村や報道機関を通じて地域住民のみなさんへ伝えられます。

大雨・洪水注意報 警戒レベル2相当	大雨・洪水警報 警戒レベル3相当	大雨特別警報 警戒レベル5相当
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	「警報」よりもはるかに高い危険度
<p>大雨 大雨により、浸水害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表</p> <p>洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表</p>	<p>大雨 大雨により、重大な浸水害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表</p> <p>洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表</p>	<p>大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想されたとときに発表</p>

このほか、数年に一度の猛烈な雨が観測された場合や、線状降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けている場合には、気象台から、「記録的短時間大雨情報」や「顕著な大雨に関する情報」が発表されます。この情報が発表された地域では、災害の発生につながる事態が生じていることを意味しています。

「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。

河川の水位情報に基づく避難行動

朝明川・員弁川は、一級河川に比べて流域面積が小さいため、上流で大雨が降った時に短時間で水位が上昇し、洪水が発生する危険性があります。朝明川では「松寺水位観測所」、「南福崎水位観測所」、員弁川では「安永水位観測所」の水位情報を避難判断の目安としてください。

水位レベル	水位	朝明川の観測水位 (m)		員弁川の観測水位 (m)	町の対応	町民のとるべき行動
		松寺	南福崎	安永		
5	氾濫発生	-	-	-	警戒レベル5「緊急安全確保」の発令の判断の目安	災害が切迫しているおそれがあるため、今いる場所で最も安全な場所に移動するなど、命を守る最善の行動をとる。
4	氾濫危険水位	2.63	3.01	5.52	警戒レベル4「避難指示」の発令の判断の目安	避難指示が発令されたら、危険な場所にいる方は、避難を開始する。
3	避難判断水位	2.07	2.51	4.56	警戒レベル3「高齢者等避難」の発令の判断の目安	高齢者等避難が発令されたら、避難に時間にかかる方は避難を開始する。それ以外の方も避難の準備をする。
2	氾濫注意水位	1.70	2.51	4.56	水防団が出動に備え準備を行い、氾濫に対する注意喚起を行う水位	今後の河川の水位に注意し、避難に時間がかかる方は準備をする。
1	水防団待機水位	1.20	2.13	4.26	水防団が自宅での準備を行う水位	情報を収集し、災害への心構えを高める。

高潮について知る

過去の高潮災害

過去にも、昭和9年の室戸台風や昭和34年の伊勢湾台風などの大型の台風に伴い、高潮による大きな被害が発生しています。

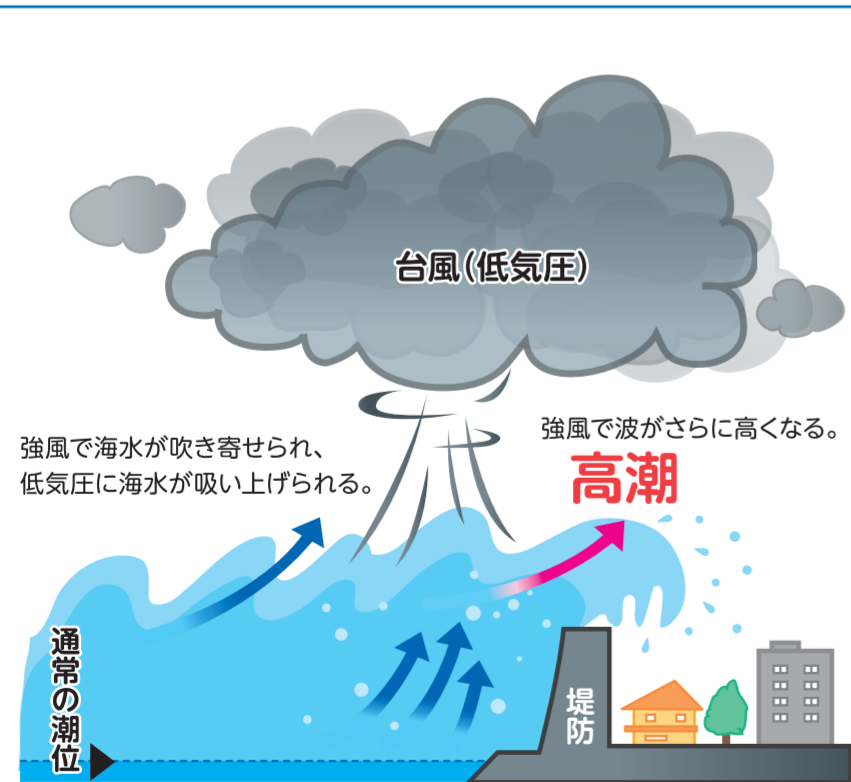
特に、伊勢湾台風は、上陸時の中心気圧929hPa、暴風域の半径350kmという超大型で非常に強い勢力を保ったまま、潮岬付近から三重県を縦断しました。台風の接近・通過に伴う気圧の低下で海面が上昇し、暴風による吹き寄せに加えて満潮が重なり、記録的な高潮となりました。この高潮により、伊勢湾沿岸の堤防が広範囲にわたり壊滅的に決壊し、愛知県・三重県だけで、4,744人の死者・行方不明者を出しました。

川越町においても、死者173人・行方不明者1人・流出家屋163戸・全壊家屋290戸・半壊家屋905戸にのぼり、未曾有の被害となりました。その惨事を二度と繰り返さないために、伊勢湾台風時の高潮の潮位3.55mに波の高さ2.9mを加えた6.45mに0.97mを加えた7.42mの高さの堤防が昭和38年に整備され、浸水の不安が解消されたことから、各地区に住宅の再建が進められました。



(写真提供者：加藤宣雄氏)

高潮発生のメカニズム



低気圧による吸い上げ

台風や低気圧の中心付近では、気圧が低いので、その部分の空気が海面を吸い上げるように作用する結果、海面が上昇します。気圧が1hPa低くなると、海面は約1cm上昇します。

風による吹き寄せ

台風などによる強風が沖から海岸に向かって吹くと、海水が海岸に吹き寄せられ海面が上昇します。潮位の上昇は風速の2乗に比例します。風速が2倍になれば海面上昇は4倍になります。また、台風接近に伴い風で大きな波も発生して、海面がさらに高くなります。

高潮に関する注意報・警報

気象庁は、下記のような場合に「高潮注意報」「高潮警報」を發表します。さらに、警報の發表基準を大きくはるかに超えるような高潮になると予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に、「高潮特別警報」を發表し、最大限の警戒を呼びかけます。

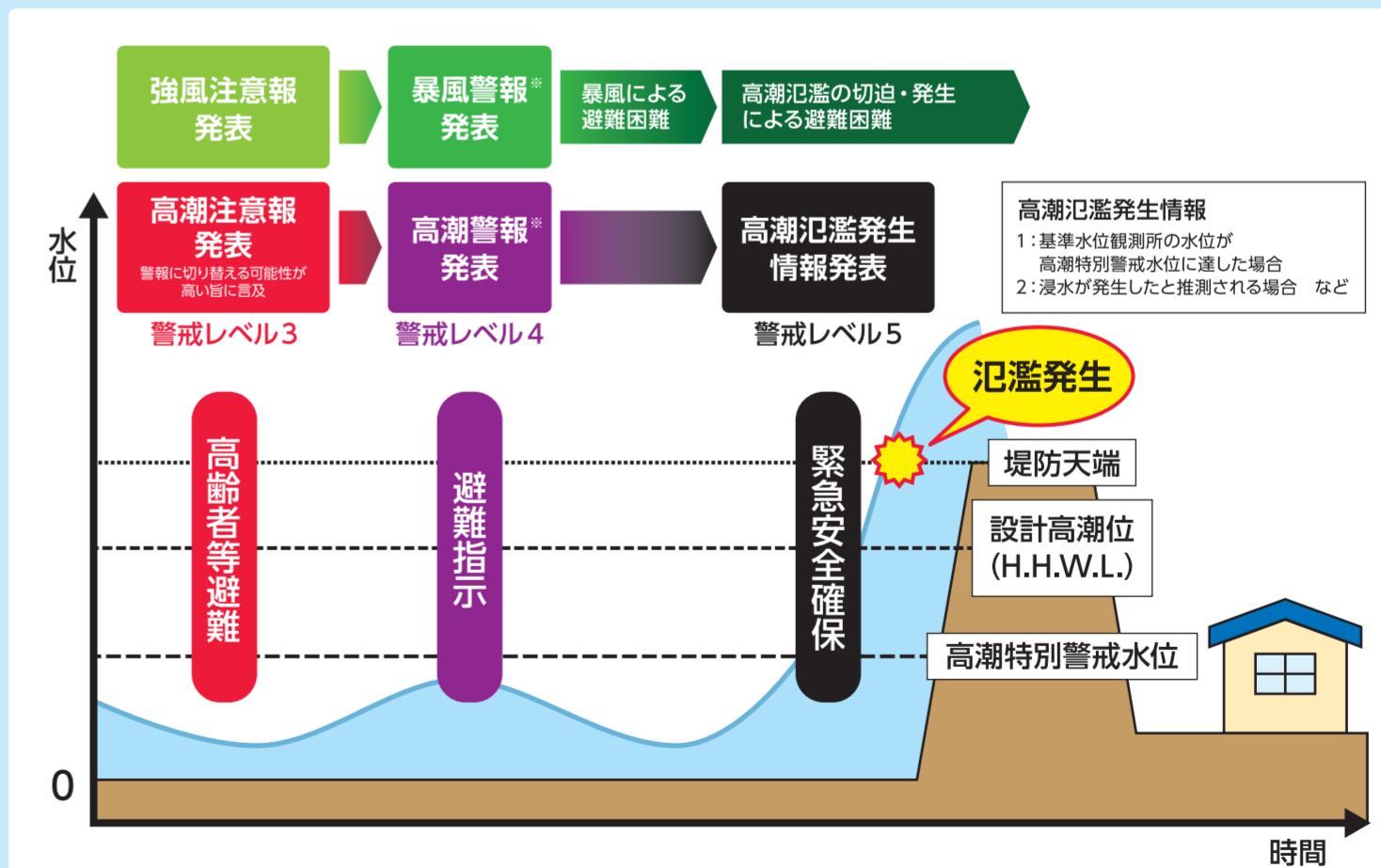
高潮注意報	高潮注意報	高潮警報	高潮特別警報
警戒レベル2	警戒レベル3相当 <small>警報に切り替える可能性が高い旨に言及されているもの</small>	警戒レベル4相当	警戒レベル4相当
台風や低気圧等による異常な潮位上昇により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表	台風や低気圧等による異常な潮位上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表	台風や低気圧等による異常な潮位上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に発表

高潮特別警戒水位と高潮氾濫発生情報

「高潮特別警戒水位」とは、高潮による災害の発生を特に警戒すべき水位であり、四日市港(千歳)の潮位が**高潮特別警戒水位(TP2.9m)**を**実況値**で超えた場合に、三重県から「高潮氾濫発生情報」が発表されます。

高潮氾濫発生情報は、**警戒レベル5相当の情報**で、町は水防活動に従事する者などの安全確保を図るための通知を行うとともに、「警戒レベル5緊急安全確保」の発令を検討します。

高潮特別警戒水位と防災気象情報、避難情報等の関係(イメージ)



※数十年に一度の強度の台風や温帯低気圧により暴風・高潮になると予想される場合には、暴風警報・高潮警報はそれぞれ暴風特別警報・高潮特別警報として発表される。

地震について知る

地震の発生確率と川越町における被害想定

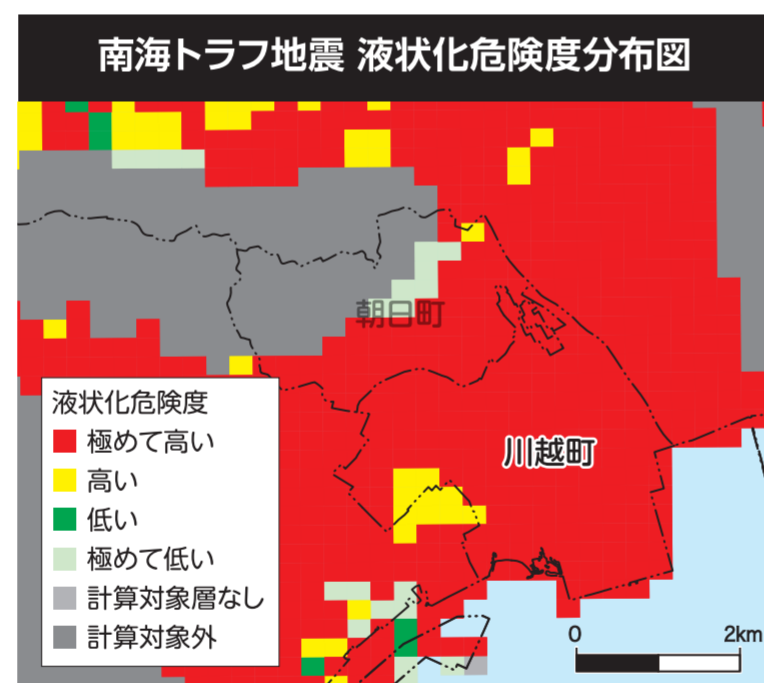
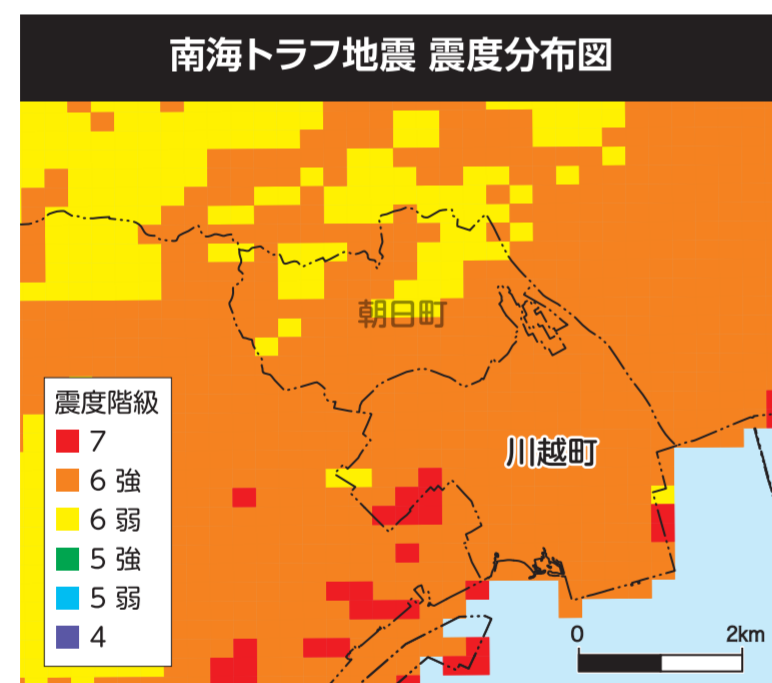
区分	南海トラフ地震（理論上最大クラス）	養老-桑名-四日市断層帯の地震
地震の規模（マグニチュード）	M8～M9クラス	M8程度
町内における最大震度	震度7	震度7
地震発生の間隔	短い（100年～200年）	長い（1400年～1900年）
今後30年の発生確率	70%～80%	ほぼ0%～0.8%
被害想定	死者数	約400人
	負傷者数	約280人
		約100人
		約500人

※令和5年1月現在 三重県周辺の主要活断層及び海溝で起こる地震（政府地震調査研究本部）より ※町内における最大震度及び被害想定は、地震被害想定調査結果（平成26年三重県）より

南海トラフで発生する地震

南海トラフとは、静岡県の駿河湾から九州東方沖まで続く大陸プレートと海洋プレートの境界における深い溝（トラフ）のことです。南海トラフを震源とする地震は、これまでも100年から200年の周期で繰り返し発生しており、今後30年以内に70%～80%の確率でマグニチュード8から9クラスの大地震が発生するといわれています。（政府 地震調査研究推進本部より）

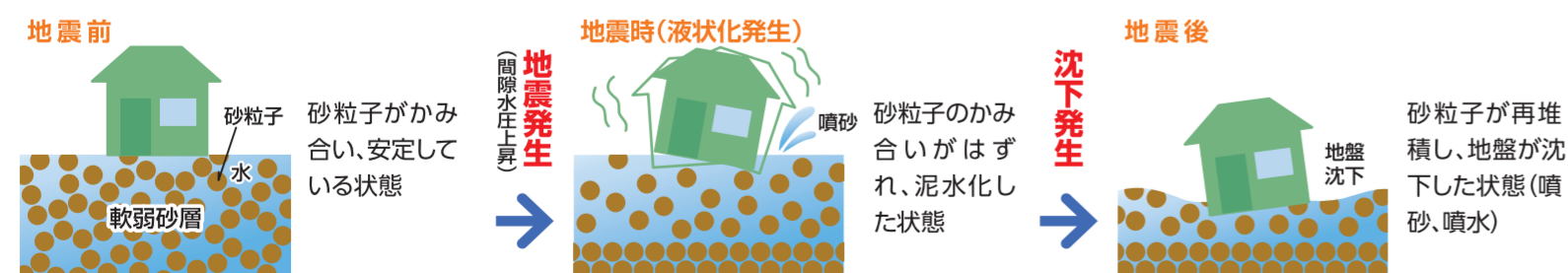
南海トラフを震源とする大地震が発生した場合、川越町では最大で震度7の揺れが予想されます。



地震被害想定調査結果（平成26年3月三重県）より

液状化のメカニズム

液状化とは、地震によって地盤が一時的に液体のようになってしまう現象で、地盤の上の建物を傾かせたり沈ませたりします。



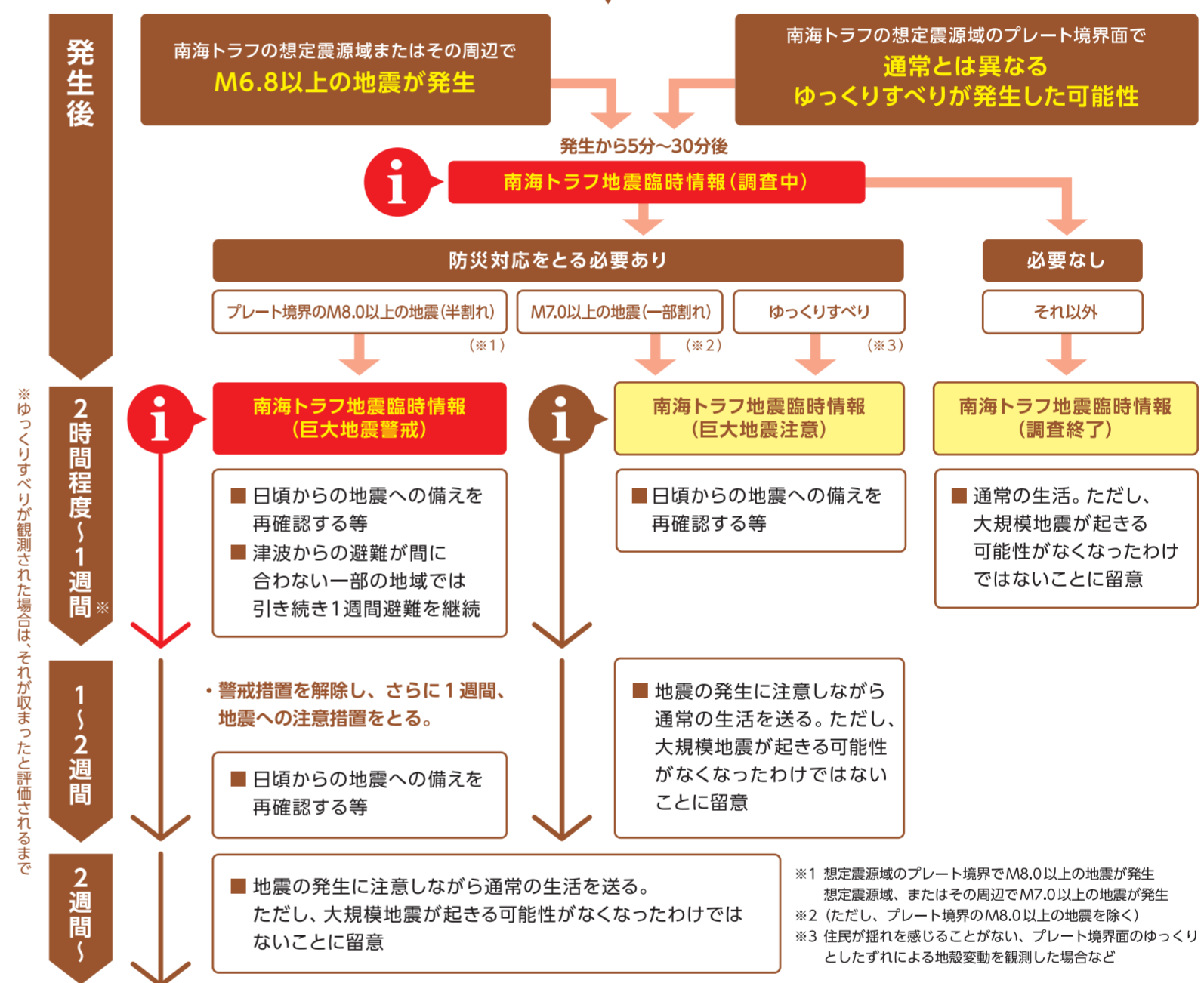
南海トラフ地震臨時情報とは？

南海トラフでは、過去に、東側と西側において時間差で大規模な地震が発生したことがあるため、時間差で発生する地震に備える必要があります。

「南海トラフ臨時情報」は、例えば、南海トラフの西側で地震が発生し、東側でも地震が続発する可能性が高まった場合などに気象庁が発表します。

南海トラフ臨時情報が発表された場合、国や県、町からの呼びかけに従い、後発の大規模地震に備える防災対応をとってください。

地震発生後の防災対応の流れ



南海トラフ臨時情報（巨大地震警戒）の発表時の対応

南海トラフ臨時情報（巨大地震警戒）が発表された場合、高齢者、障害のある人など避難に時間を要する方は、後発の大規模地震に備え、1週間程度の事前避難が必要となります。

事前避難対象地域

町においては、対象地域の全住民が避難の対象となる住民事前避難対象地域を設定しておりませんが、避難に時間を要する避難行動要支援者などの要配慮者が後発地震による津波から逃げ遅れないようにするため、津波浸水想定区域を高齢者等事前避難地域に設定しております。町は、高齢者等避難を発令し、要配慮者特に避難行動要支援者に対して、事前の避難を促します。

地震の揺れと想定される被害

震度 0	● 人は揺れを感じない。	震度 5弱	● 棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。 ● まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。 ● 電柱が揺れるのがわかる。
震度 1	● 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	震度 5強	● 物につかまらなると歩くことが難しい。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 ● 自動車の運転が困難になる。
震度 2	● 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。 ● つり下がった電灯などがわずかに揺れる。	震度 6弱	● 立っていることが困難になる。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものもある。
震度 3	● 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。 ● 棚にある食器類が音を立てることがある。 ● 電線が少し揺れる。	震度 6強	● 固定していない家具のほとんどが移動、倒れるものが多い。 ● 耐震性の高い木造住宅でも、壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
震度 4	● ほとんどの人が驚く。 ● つり下げた物や物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。 ● 自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。	震度 7	● 揺れにほんろうされる。 ● ほとんどの家具が移動し、飛ぶこともある。 ● 耐震性の高い木造住宅でも、まれに傾くことがある。

家庭での対策を！ 〈家屋の外観編〉



屋根

- 瓦の割れ、ひび、ズレ、はがれなどは修理
- 瓦の落下防止対策
- 重い屋根を軽い材料へふきかえを検討
- トタンのめくれ、はがれ

窓ガラス

- 飛散防止フィルムを貼る
- 雨戸にがたつきがないか確認

壁

- 亀裂や腐食、浮いた部分がないか確認
- 壁一面の窓ガラス、壁部分が少ない個室は、筋交いなどで補強

ブロック塀

- ほとんどのブロック塀は地震に弱く、生垣やフェンスへの変更を検討

その他

- プロパンガスのボンベ、エアコンの室外機をしっかりと固定
- 側溝にゴミや土砂は溜まっていないか確認

ベランダ

- 植木鉢、物干し竿などが風で飛ばされないよう対策
- エアコンの室外機の落下対策

雨どい

- 詰まりはないか
- 編目のはずれはないか

家庭での対策を！ 〈家の中編〉



タンス

- 壁などに金具で固定
- 差し木をタンスの下に入れ転倒防止

テレビ

- 耐震マット・ベルトを使ってできるだけ低い位置に固定

エアコン

- L字金具などでしっかり固定

本棚

- 壁と本棚をベルトで固定
- 重い本は下に、軽いものは上に置く

ピアノ

- 台の下に固定板を敷く
- 固定板にピアノ足を金具で固定

サイドボード

- 柵を使って落下防止

食器棚

- L字金具などで壁などに固定
- 棚板には滑りにくい素材のシートやふきんを敷く
- 重い食器は下に、軽い食器は上に置く
- ガラス戸には飛散防止フィルムを貼る

照明器具

- チェーンや金具で数カ所とめる
- 蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープでとめる

額縁・壁かけ時計

- 台の下に固定板を敷く
- 固定板にピアノ足を金具で固定

地震が起きたら

地震発生から避難後までの行動マニュアル

地震は突然発生するので日ごろの備えが大切です。大きな地震が発生したら「慌てずに身の安全を確保」、「安全なところに移動」、「より安全なところに避難」。

地震発生

1~2分

3分

5分

10分
数時間

3日

津波の危険が予測される地域の方は身の安全を確認してすぐ避難

最初の大きな揺れは約1分間

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- あわてて外へ飛び出さない。
- 大きな揺れの場合は、揺れがおさまってから火の始末をする。



揺れがおさまったら

- 火元を確認、火が出たら落ち着いて初期消火する。
- 家族の安全を確認、倒れた家具の下敷きになっていないかを確認。
- 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく。
- 避難するときは、屋根瓦などの転落やブロック塀・自動販売機などの転倒に注意する。
- 仕事やレジャーで海岸部に滞在している場合、直ちに高台へ避難する。



みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

隣近所に声をかけよう

- 災害弱者の安全確保、隣近所で助け合う。
- 行方不明者はいないか。
- けが人はいないか。

出火防止 初期消火

- 初期消火、消火器を使う。バケツリレー、風呂の水はためておく。
- 漏電・ガス漏れに注意。
- 電気のブレーカーを下げる・ガスの元栓を開める。

協力して消火活動、救助活動

- 大声で知らせる。
- 救出・救護をする。
- 防災機関、自主防災組織の情報を確認する。
- デマにまどわされないようにする。
- 避難時に車は極力使わない。
- 電話は緊急連絡を優先する。

ラジオ等で正しい情報を得る

- 水、食料は蓄えているものでまかなう。
- 3日間(できれば1週間)の飲料水と食料の準備をしておく。
- 災害・被害情報を収集する。
- 無理はやめよう。
- 助け合いの心が大切。
- 壊れた家に入らない。

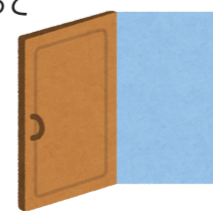
高台に避難してください



身を守るポイント

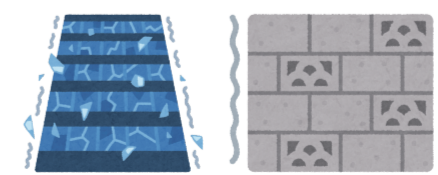
家庭では

- まず低く、頭を守り、動かない
- 大きな家具から離れる
- 扉を開けて避難路を確保
- あわてて外へ飛び出さない
- 揺れがおさまってから火の始末



外にいたら

- ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる
- ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意して、建物から離れる



自動車運転中は

- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず緩やかに速度を落とす
- ハザードランプを点灯して周りの車に注意を促し、道路の左側に停止する



出典：首相官邸「地震ではどのような災害がおこるのか」

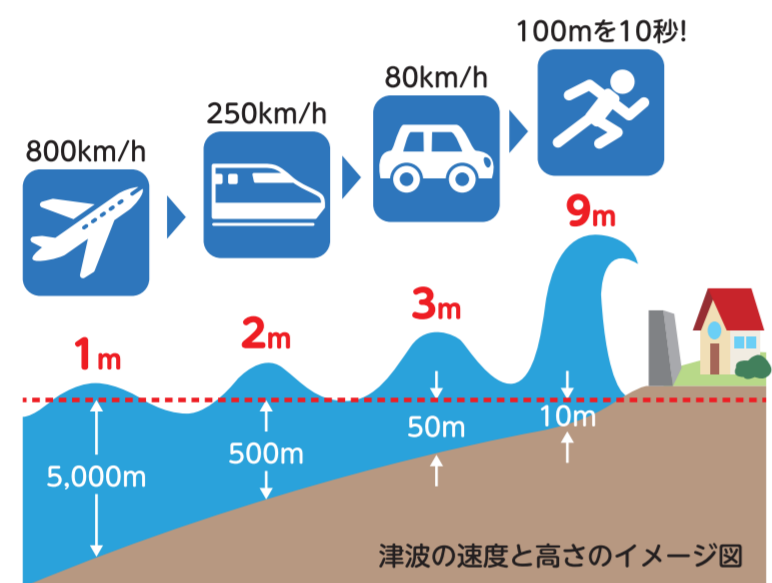
津波について知る

地震だ！津波だ！すぐ避難！

津波から身を守るには、まず逃げるのが重要です。地域によっては、短時間で津波がやってきます。津波に対する正しい知識を持ち行動しましょう。

▶▶▶ 津波の速さはジェット機を超える

津波が伝わる速さは海が深いほど速く、津波が太平洋を伝わる速さは、ジェット機以上にもなります。陸を駆け上がる速さも大人の全力疾走以上なので、津波が見えてからではとても逃げ切れません。大きい揺れを感じたら、情報を待たずにすぐ高台などに避難することが何よりも大切です。



▶▶▶ 津波は繰り返し襲ってくる

津波は2回、3回と繰り返し襲ってきます。しかも、第1波の高さが最大となるとは限りません。津波警報、注意報が解除されるまで、海岸には絶対に近づかないようにしましょう。



▶▶▶ 津波の高さは想像を超える

津波の高さは海岸の地形などに大きく左右されます。沿岸での津波の高さが1メートルでも、津波はその数倍から場合によっては10倍程度の高さになり大きな被害を出すこともあります。特にV字状の湾、岬付近、河川沿いなどは高くなりやすく、大変危険です。

▶▶▶ 引き潮がなくても津波は襲ってくる

津波が海岸に到達する前に、引き潮（海面が下がる現象）が必ずあるとは限りません。地震の起こり方などによっては、引き潮が起こらないこともあります。大きい揺れを感じたら、いち早く高台などの安全な場所に避難し、ラジオなどから発表される津波情報に十分注意するようにしましょう。

津波警報・注意報が発表されたらすぐに避難！

津波が繰り返し押し寄せるおそれがあります。引き潮も危険です。

種類	気象庁の情報		町が発令する避難情報	想定される被害ととるべき行動
	発表される津波の高さ			
	数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の場合の発表		
大津波警報	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	避難指示	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人たちはただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m (5m<予想高さ≤10m)			
	5m (3m<予想高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い		標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人たちはただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
津波注意報	1m (0.2m<予想高さ≤1m)	(表記しない)	—	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流出し小型船舶が転覆します。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

日頃の津波対策

▶▶▶ ハザードマップを確認する

津波の浸水想定区域や浸水深など、自宅周辺・職場・学校などの状況を確認しましょう。ただし、ハザードマップは、ある一つのモデルによる想定結果ですので、それ以上の津波がくる可能性も考えて避難しましょう。

▶▶▶ 避難場所・避難経路を確認する

避難場所までの時間と避難経路の安全性を実際に歩いて確認しましょう。



▶▶▶ 家族で防災会議を開く

月に1度は家族そろって防災会議を開き、どこに避難して、どう連絡を取り合うのか、事前に話し合しましょう。また、備蓄品をチェックし、賞味期限などが近いものを入れ替えましょう。

津波の危険から身を守る

津波から命を守る行動マニュアル

津波から身を守るには「逃げる」しかありません。行動マニュアルに従って、早めに避難しましょう。

！こんなときには

強い地震や長時間の揺れを感じた

避難する

大津波警報(特別警報)・津波警報が発表された(揺れを感じなくても)

避難する

津波注意報が発表された(揺れを感じなくても)

避難に備える

！まずこのような行動を

- 沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなどの安全な場所へ避難する。
- ここなら安全と思わず、より高い場所を目指して避難する。
- 沿岸部にいる人たちは、直ちに避難する。



！その後・・・

- 正しい情報をラジオやテレビなどで入手する。
- 津波は繰り返し来襲するので、警報・注意報が解除されるまでは絶対に海岸に近づかない。



命を守るため「すぐ避難」しましょう

津波浸水予想図で津波到達が予想される境界ラインを確認しておき、津波警報または大津波警報が発表されたら、直ちに境界ラインの外へ避難しましょう。

津波避難の三原則 ※

第一「想定にとられるな」

相手は自然でありどんなことが起こるか分からないことから、自分の居る場所がハザードマップでは安全と判断される場所であっても油断しない。

第二「最善をつくせ」

一時的に避難した場所が決して一番安全な場所とは限らないため、その場所に留まることに固執せず、より安全な別の場所に避難できるかを考え、そのときにできる最善をつくして避難行動をする。

第三「率先避難者たれ」

常私たちは「自分は被害に遭わないだろう」と考えがちだが、この考えを排除し、率先して避難する。

※内閣府ホームページ(特集 津波防災の推進について)より

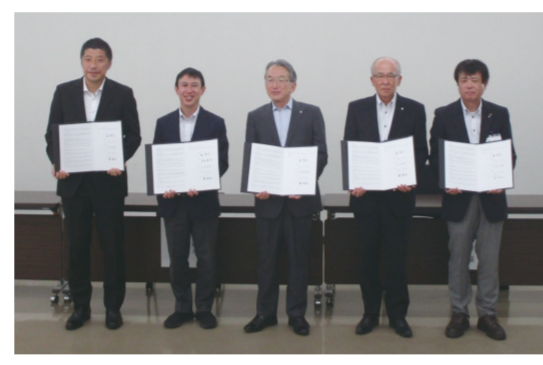
広域避難とは

避難情報の発令や指定緊急避難場所などの避難先の確保、居住者・滞在者の円滑な避難に関する検討は、市町村ごとに行うことが一般的です。しかしながら、南海トラフ地震や想定最大規模の台風による高潮など1つの市町村の中で避難を完結することが困難となるような広域的な災害が想定されることから、他の市町村及び都道府県へ行政界を越えた避難をすることを広域避難といいます。

町内のほとんどが浸水想定区域となる町では、十分な避難先の確保が困難となることから、令和4年9月に四日市市、菟野町、朝日町、川越町及び三重県との間で「災害時における広域避難等相互応援に関する協定」を締結し、広域避難体制の強化に取り組んでいます。

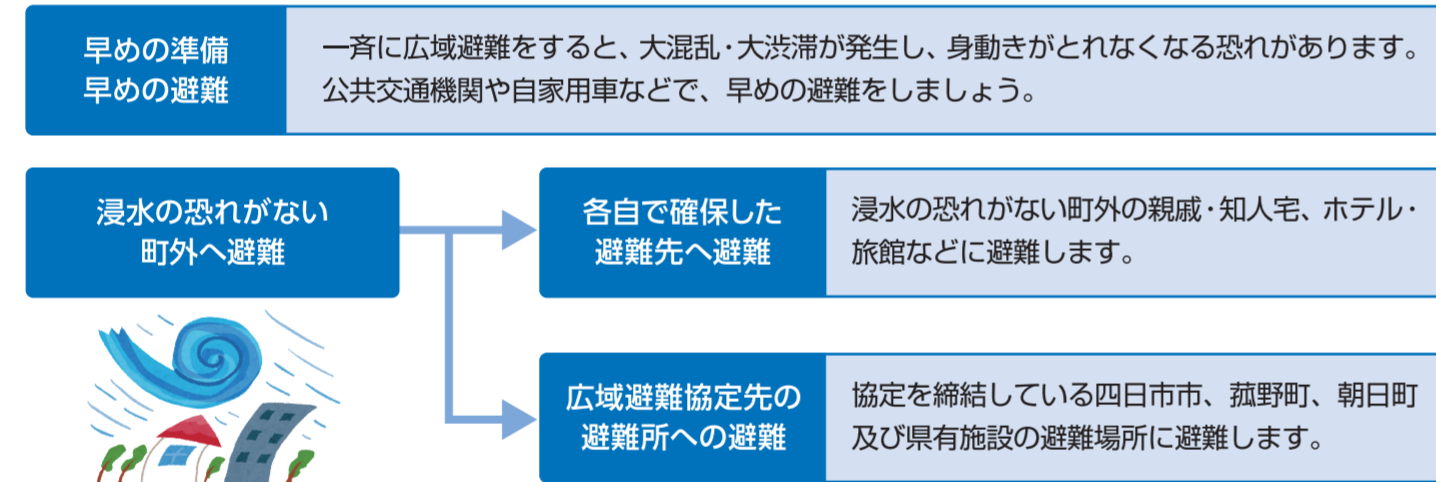
今後この協定に基づき、町で大規模な被害が発生する恐れがある場合などに、四日市市、菟野町、朝日町、三重県が避難者を可能な限り受け入れます。

四日市市、菟野町、朝日町、川越町、三重県
災害時における広域避難等相互応援協定を締結

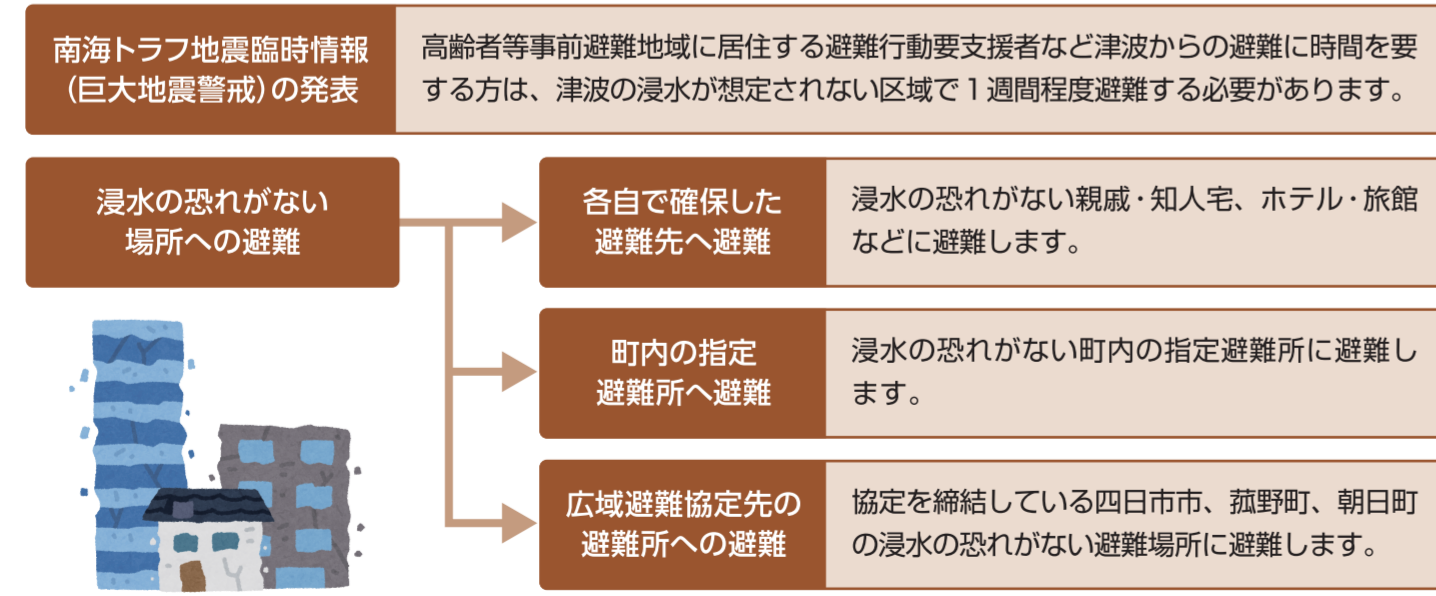


広域避難の流れ

スーパー台風の上陸など大規模な風水害の発生が予測されるようなときは



南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表されたら



川越町指定緊急避難場所及び指定避難所一覧

指定緊急避難場所・指定避難所

NO	施設・場所名	住所	指定緊急避難場所 対象とする災害の種類					指定一般 避難所	指定福祉 避難所
			洪水		高潮	地震	津波		
			朝明川	員弁川					
1	当新田地区公民館	朝日町縄生1142-1	②	②		○		○	
2	北福崎地区公民館	北福崎45-1	②	②		○		○	
3	亀須地区公民館	亀須新田278-5	②	②		○		○	
4	亀崎地区公民館	亀崎新田83-6	○	○	○	○	○	○	
5	上吉地区公民館	高松1301	②	○		○		○	
6	南福崎地区公民館	南福崎405	②	②		○		○	
7	豊田一色地区公民館	豊田一色320	②	②		○		○	
8	豊田地区公民館	豊田927-1	②	○	②	○		○	
9	高松地区公民館	高松380-1	②	○		○		○	
10	天神地区公民館	豊田373-2	②	○		○		○	
11	川越町総合体育館	亀崎新田77-546	②	○	②	○	○	○	
12	川越北小学校	豊田一色69	②	②	③	○	②	○	
13	川越南小学校	高松258	②	○	③	○	②	○	
14	川越中学校	豊田一色67	②	②	③	○	②	○	
15	川越町いきいきセンター	豊田一色314	②	②	③	○	②		○
16	川越町あいあいセンター	豊田一色314	②	②	③	○	②	○	
17	川越町水防倉庫	当新田816-4					③		
18	川越町役場	豊田一色280					②		
19	三重県北勢沿岸流域下水道北部浄化センター管理本館	亀崎新田80-2	○	○	②	○	○		
20	三重県立川越高等学校	豊田2303-1	②	②	②	○	②	○	
21	霞4号幹線検査路	高松1395-3他					○		
22	豊田水防倉庫	豊田826-1					③		
23	北部保育所避難施設	当新田763-1					③		
24	亀須・亀崎地区津波避難タワー	亀須新田168-1					②		

②は2階以上に、③は3階以上（3階部分が屋上の場合は屋上）に避難することを前提とした施設です。

※ 指定緊急避難場所とは、災害が発生し、又は発生する恐れがある場合にその危険から逃れるための避難場所となる施設で、災害の種類ごとに指定しています。

※ 指定一般避難所とは、災害により家に帰れなくなった被災者が一定期間生活する施設のことです。

※ 指定福祉避難所とは、要配慮者など一般の避難所では生活に支障があり、特別な配慮を必要とする人を受け入れる施設のことです。

津波避難ビル

NO	名称	所在地	階数	避難場所(階)
1	ユーズ・アーク	高松191-1	4	2階以上
2	モン・クレッシュ	高松995	7	2階以上
3	チヨダウーテ(株)本社事務所	高松928	一部4	2階以上
4	中部電力(株)川越寮	豊田837-3	4	2階以上
5	カインズホームみえ川越インター店	北福崎175	2	2階以上
6	第1杉ノ木ハイツ	豊田647-1	4	2階以上
7	第2杉ノ木ハイツ	豊田768-1	5	2階以上
8	ライオンズマンション富洲原ニューシティ	四日市市天カ須賀四丁目33	9・14・13	4階以上
9	名鉄四日市タクシー(株)北部営業所立体駐車場	亀崎新田18番地16	2	屋上
10	川越住宅	豊田784-1	4	2階以上

四日市市指定緊急避難場所及び指定避難所一覧

指定緊急避難場所・指定避難所

NO	施設・場所名	住 所	指定緊急避難場所				指定一般 避難所	指定福祉 避難所
			対象とする災害の種類					
			洪水	高潮	地震	津波		
1	富洲原地区市民センター	富洲原町31-46			○		○	
2	富洲原小学校	富洲原町31-14	○	○	○	○	○	
3	富洲原小学校グラウンド	富洲原町31-14			○			
4	富洲原中学校	天カ須賀五丁目3-10	○	○	○	○	○	
5	富洲原中学校グラウンド	天カ須賀五丁目3-10			○			
6	松原公園	松原町2-12			○			
7	松原野球場	松原町4-15			○			
8	私立暁小学校運動場	蒔田三丁目3-37			○	○		
9	私立暁小学校	蒔田三丁目3-37	○	○	○	○	○	

津波避難ビル

NO	名 称	所 在 地	階 数	避難場所(階)
1	富洲原中学校	天カ須賀五丁目3-10	3	3階以上
2	富洲原小学校	富洲原町31-14	3	3階以上
3	有限会社前川	富田一色町9-3	3	3階以上
4	サニーハイツ松原公園A棟	松原町5-24	5	3階以上
5	サニーハイツ松原公園B棟	松原町5-25	5	3階以上
6	レジデンス富洲原	平町4-10	3	3階以上
7	コーポエデンA	平町25-15	3	3階以上
8	コーポエデンB	平町25-15	3	3階以上
9	日の本保育園	松原町3-2	2	2階の屋上
10	日の本第二保育園	松原町22-10	2	2階の屋上
11	ラウムズ富洲原	平町17-11	9	3階以上
12	株式会社中部プラントサービス四日市寮	松原町5-28	4	3階以上
13	ライオンズマンション富洲原ニューシティ壹番館	天カ須賀四丁目33	9	4階以上
14	ライオンズマンション富洲原ニューシティ貳番館	天カ須賀四丁目34	14	4階以上
15	ライオンズマンション富洲原ニューシティ参番館	天カ須賀四丁目41	13	4階以上
16	藤和シティコープ富洲原	平町9-8	5	3階以上
17	私立暁小学校	蒔田三丁目3-37	3	3階以上

朝日町指定緊急避難場所及び指定避難所一覧

指定緊急避難場所・指定避難所

NO	施設・場所名	住 所	指定緊急避難場所				指定一般 避難所	指定福祉 避難所
			対象とする災害の種類					
			洪水	高潮	地震	津波		
1	縄生公民館	縄生714-1	○	○			○	
2	小向公民館	小向849-4	○				○	
3	朝日小学校	柿750	○				○	
4	朝日町保健福祉センター	小向891-5	○					○
5	柿公民館	柿2050	○	○			○	
6	朝日中学校	柿2838	○	○			○	
7	埋縄公民館	埋縄904	○	○			○	
8	朝日町教育文化施設	柿2278	○	○			○	
9	白梅西公民館	白梅の丘西一丁目8-3	○	○			○	
10	朝日町体育館	柿2146	○	○			○	
11	朝日町公民館	小向1893	○	○			○	
12	向陽台公民館	向陽台二丁目1-9	○	○			○	
13	白梅東集会所	白梅の丘東二丁目12-12	○	○			○	
14	朝日中学校グラウンド	柿2838			○	○		
15	朝日町町民スポーツ施設	柿2822-1			○	○		
16	植松公園	埋縄1367			○	○		
17	梅ヶ丘第一公園	柿3252			○	○		
18	梅ヶ丘第二公園	柿3179			○	○		
19	うらら公園	白梅の丘西二丁目8-1			○	○		
20	展望公園	白梅の丘東二丁目12-12			○	○		
21	名谷公園	白梅の丘東二丁目13-4			○	○		
22	朝日町教育文化施設駐車場	柿2278			○	○		
23	ふれあいパーク	柿2340-36			○	○		
24	北條公園	小向1948			○	○		

津波避難ビル

NO	名 称	所 在 地	階 数	避難場所(階)	備 考
1	(株)東芝三重工場	縄生2121	4	指定なし	
2	縄生公民館	縄生714-1	2	2階以上	
3	ビジネスホテルサンキュー四日市桑名店	小向310-1	7	3階以上	
4	アソビックスあさひバレーセンター	小向181	3	3階以上	営業時間内
5	朝日小学校	柿750	4	3階以上	
6	柿公民館	柿2050	2	指定なし	